

## 中学部 Omar Bin Al Khattab Model School

### ○交流内容○

活動①習字・扇子作り

活動②スナックタイム

活動③フラフープくぐり



### ○生徒の感想○

今回の現地校交流の生徒たちに日本のアニメの「ワンピース」や日本料理の寿司が好きな人がいても嬉しかったです。現地の人の名前を漢字で書いてあげたら向こうも僕の名前をアラビア語で書いてくれて、その後互いの好きなものも日本語とアラビア語で書きました。国境を越えて楽しむことができました。今回の現地校交流で少しでも日本の文化を理解したり、興味がわいたりしてくれて、とても嬉しかったです。僕もアラブの文化に触れることはとても嬉しかったですし、興味がとてもわいてきました。これからも、様々な人に日本の文化について知ってほしいです。(G7)

僕は扇子作りの担当で説明しました。現地校の人にあて字で日本の名前にしてあげました。「好きなアニメは？」とか「好きなゲームは？」など質問してみると意外と知っている物が多く、中には日本のアニメなどもありました。あて字で日本の名前を作って現地校の子にあげると、とても喜んでくれたのでよかったです。現地校の人たちと英語で会話するのは難しかったけれど勇気を出して話しかけてみると、とてもいい人達ばかりでどんどん会話がはずんでいきました。このような経験は UAE でしかできなく、日本にはできなさそうな事ができて、とても嬉しかったです。このことをきっかけにして、いろんな国の人ももっとしゃべれるようになりたいです。(G8)

前回の現地校交流では、自分の英語を聞き取る能力と話す能力の両方が不足していたためにうまく現地校の生徒とコミュニケーションがとれなかったが、今回の現地校交流では英語を聞き取る能力が上がっていて、相手の言ったことをほぼ理解することができた。ただ、話す能力がまだ不足していて何と云えばいいのかわからないことがしばしばあった。しかし、そういうときにもジェスチャーを使ってある程度乗り切れたので英語という言葉にこだわらずとも、相手とコミュニケーションをとる方法はあることを学んだ。そして、相手に自分の思いを伝えようとするれば相手もそれを理解しようとしてくれるので、コミュニケーションにおいて重要なのは言語を話すことよりも相手に自分の思いを伝えようとする事なのだということに気付いた。(G9)